



【朝会（11／2）での校長の話】

今日は始めに、ある人数を紹介します。何の人数か考えてみてください。ヒントは、保健室で教えてもらいました。

去年の4月は4人が今年の4月は0人、5月は8人が4人、6月は6人が1人、7月は7人が1人、8月は4人が0人、9月は9人が10人、10月は8人が1人。10月までの合計の人数は、去年が46人、今年は17人です。何の人数か分かりましたか？この数字は学校でけがをして病院にかかった人の人数です。1学期、感染予防のためにお休みの期間はありませんでしたが、人数は3分の1に減っています。

去年の山名小は、ギプスを巻いたり、松葉杖をついたりする子が目につきました。そこで、1学期の始業式では「落ち着いた生活態度でけがや事故が起こらないようにしてください。」というお話をしました。皆さんが新しい生活様式を意識して生活していることとも関係していると思いますが、結果として、けがの件数を大きく減らすことができています。素晴らしい結果です。

人は同じことを長く続けていると、どうしても気の緩みが出てきてしまうものです。この話を聞いて、もう一度、新しい生活様式と落ち着いた生活を心がけることを確かめてほしいと思います。そして、年度の後半もけがをする人が減るようにしていきましょう。

次に、3年生から5年生が取り組む、漢字検定と算数検定の話をしていきます。

袋井市では、自分の決めた目標に向かって自分で計画を立てて学習を進める力を身に付けてほしいと考えて、この2つの検定を受けるようにしています。そして、合格した喜びを次の目標に向けていってほしいと考えています。

漢字検定が11月6日、算数検定が11月13日と検定の日が近づいてきました。3・4・5年生の皆さん、準備は進んでいますか。まだ、少し時間がありますから、検定当日、自分の力が発揮できるよう準備を進め、よい結果が出せるようがんばりましょう。